

環境経営活動レポート

令和5年度

(対象期間: 令和5年度6月～令和6年5月)



発行日: 令和6年8月30日

株式会社 久保造園



目次

1. 組織の概要	…1p
2. 認証登録対象範囲	…1p
3. 環境経営方針	…2p
4. 環境経営目標	…3p
5. 環境経営計画	…4p
6. 実施体制	…5p
7. 環境経営目標と環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標と環境経営計画	…6-9p
8. 環境関連法規などの厳守状況の確認並びに違反、 訴訟の有無	…10p
9. 代表者による全体評価と見直しの指示結果	…10p



1. 組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社 久保造園
代表者氏名 代表取締役 木下博幸
- 2) 所在地 本 社 〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2063-3
- 3) 環境管理責任者 役職 業務統括部長 岡 裕次
担当者 役職 社員 木下 理恵子
連絡先 T E L 0952-98-2327 F A X 0952-98-2357
- 4) 事業の内容 造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、
鋼構造物工事業、ほ装工事業、しゅんせつ工事業、
水道施設工事業、公園管理

5) 事業の規模

	単位	R5年度	R4年度	R3年度
		(R5.6.1-R6.5.31)	(R4.6.1-R5.5.31)	(R3.6.1-R4.5.31)
総売上額	百万円	294	344	268
従業員数	人	17	18	18
延床面積	m ²	180	180	180
倉庫床面積	m ²	252	252	252
資機材置場面積	m ²	1585	1585	1585

- 6) 事業年度 6月～翌年5月

2. 認証・登録の対象範囲

上記の全組織及び全活動

- 1) 対象事業所 本社・倉庫
- 2) 事業活動 上記の事業内容



3. 環境経営方針

基本理念

株式会社 久保造園は、緑のまちづくりに寄与し、自然や街並みと調和させる緑の指揮者でありたいと考えます。造園工事や緑地の維持管理、公共の公園管理運営などの事業活動を通じて地域社会の緑化推進と地球環境の保全・環境負荷の低減に積極的且つ、環境経営の継続に取り組めます。

活動方針

- (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用及び省エネに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
- (2) 一般廃棄物及び産業廃棄物の削減とリサイクルを促進します。
- (3) 節水に努め、水の使用量を削減します。
- (4) 化学物質を含む農薬などの適正管理に努めます。
- (5) 環境配慮工事实施及び提案による事業拡大に努めます。
- (6) 伐採廃棄物(木くず)等のリサイクルを推進します。
- (7) 地域の環境保全活動を積極的に実施します。
- (8) 人材確保のための取組を推進します。
- (9) 環境関連法規等及びその他規則を遵守します。

制定日 平成29年11月20日
改定日 令和3年 2月 1日
株式会社 久 保 造 園
代表取締役 木下 博幸



4. 環境経営目標

【事務所及び現場】

環境目標		単位	2016年度 (基準年)	2023年度	2024年度	2025年度
			(2016年 6月～翌年5月)	(2023年6月～翌年5月)	(2024年6月～翌年5月)	(2025年6月～翌年5月)
事務所	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	11515	10916以下 (△5.2%)	10905以下 (△5.3%)	1089以下 (△5.4%)
	(1)電気使用量削減	kWh	12599	11944以下 (△5.2%)	11932以下 (△5.3%)	11919以下 (△5.4%)
	(2)ガソリン使用量削減	ℓ	3079	2919以下 (△5.2%)	2916以下 (△5.3%)	2913以下 (△5.4%)
現場	二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	38057	36078以下 (△5.2%)	36040以下 (△5.3%)	36002以下 (△5.4%)
	(1)電気使用量削減	kWh	1949	1848以下 (△5.2%)	1846以下 (△5.3%)	1844以下 (△5.4%)
	(1)ガソリン使用量削減	ℓ	8190	7764以下 (△5.2%)	7756以下 (△5.3%)	7748以下 (△5.4%)
	(2)軽油使用量削減	ℓ	6925	6565以下 (△5.2%)	6558以下 (△5.3%)	6551以下 (△5.4%)
事務所	廃棄物排出量削減	kg	202	192以下 (△5.2%)	191以下 (△5.3%)	191以下 (△5.4%)
事務所	水使用量の削減	m ³	124	118以下 (△5.2%)	117以下 (△5.3%)	117以下 (△5.4%)
現場	産業廃棄物排出量削減 及びリサイクル率向上	再資源化 率	90%	90%	90%	90%
現場	化学物質適正管理 (化学物質使用場合)	—	使用製品含有化学物質 適正管理 (SDS把握)	使用製品含有化学物質 適正管理(SDS把握)	使用製品含有化学物質 適正管理(SDS把握)	使用製品含有化学物質 適正管理(SDS把握)
全社	グリーン購入の向上	—	優先的に 購入	取り組みは行うが、環境目標には設定しない。		
現場	伐採廃棄物(木くず)等のリサイクルの推進	kg	2650	リサイクル量把握	リサイクル量把握	リサイクル量把握
現場	環境配慮工事の実施及び 提案による事業拡大	—	低燃費、低騒音重機優先 使用	低燃費、低騒音重機 優先使用	低燃費、低騒音重機 優先使用	低燃費、低騒音重機 優先使用
		件/年	工事の環境 提案実施 1 件/年	工事の環境提案実施 3件/年	工事の環境提案実施 3件/年	工事の環境提案実施 3件/年
全社	地域貢献活動	件/年	積極的参加	積極的参加 2件/年	積極的参加 2件/年	積極的参加 2件/年
全社	人材確保のための 取り組み	取組	—	安全管理等の研修、 講習会参加受講を行 う、インターシップ受 け入れ等	安全管理等の研修、 講習会参加受講を行 う、インターシップ受 け入れ等	安全管理等の研修、 講習会参加受講を行 う、インターシップ受 け入れ等

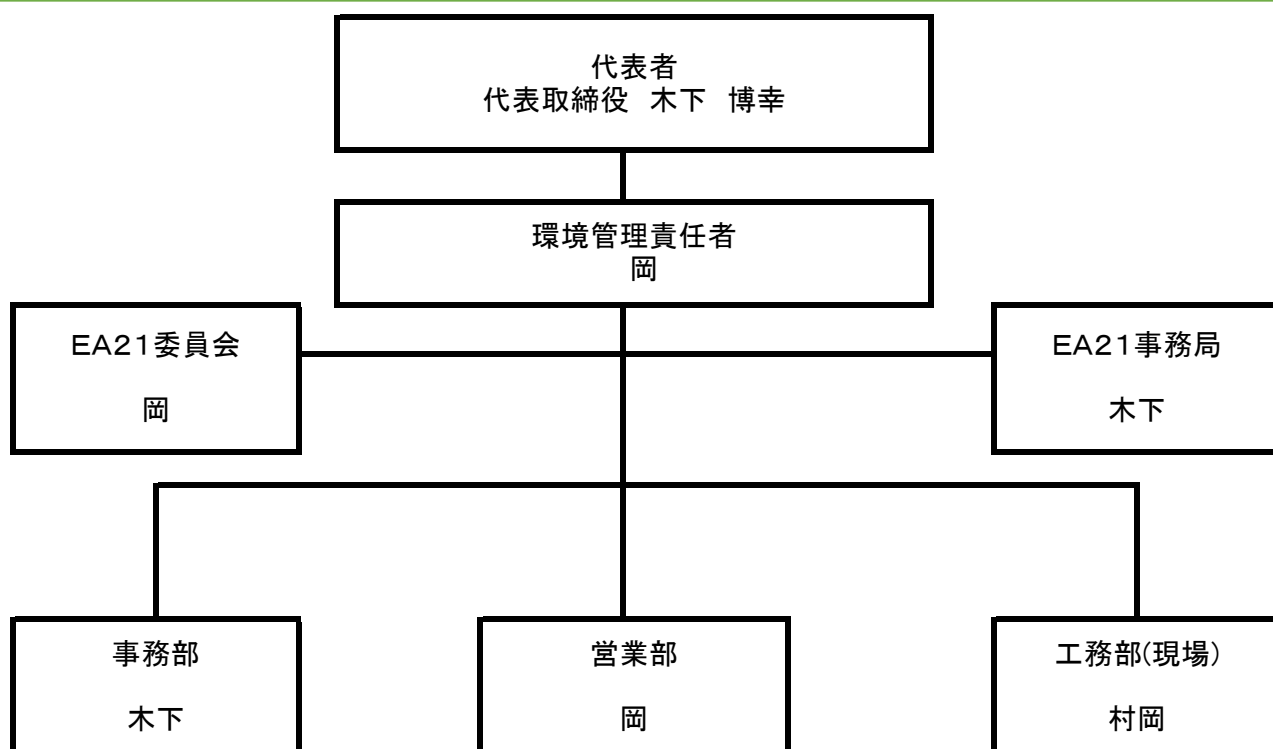
備考：(%)は、2016年度を基準とした削減率

※電気の排出係数は九州電力の2022年度調整後排出係数「0.453kg-CO₂/kWh」使用

5. 環境経営計画(R5年度)

取組目標		達成手段	
1. 二酸化炭素排出量の削減			
①電気使用量の削減	事務所 現場	照明が不要な時は消灯を行う	
		パソコンやOA機器は省エネ設定を行う	
		節電タップコンセントを使用し不必要な時はスイッチを切る	
		空調の設定温度を決める(夏26度、冬20度)	
		照明器具、空調機の定期清掃	
②ガソリン使用量の削減	事務所 現場	アイドリングストップ	
		急発進・急加速・急減速の禁止	
		不要な荷物は積まない	
		空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回)	
③軽油使用量の削減	現場	アイドリングストップ	
		急発進・急加速・急減速の禁止	
		不要な荷物は積まない	
		空気圧の適正確認チェック(1ヶ月1回)	
		定期点検の実施	
2. 廃棄物排出量の削減とリサイクルの促進			
①一般廃棄物排出量の把握と削減	事務所	分別によるリサイクルの推進	
		コピー用紙裏紙の利用	
		ミスプリント防止	
②産業廃棄物排出量の把握と削減	現場	廃棄物排出量を把握し、マニフェスト伝票の発行管理 や契約書の整備等を行う	
		分別によるリサイクルの推進	
③産業廃棄物のリサイクル率の向上			転用可能な資材の活用
3 水使用量の削減	事務所	節水ラベルの貼付 屋外のホースに自動的に止まるストッパーをつける	
	現場	圃場で使用する水は、容器等を設置し雨水を利用する 植栽工事における灌水に用いる水は、近くの農業用 水路からくみ取り使用する(使用許可済)	
4 化学物質の適正管理	現場	SDSにより管理する	
5 環境配慮工事の実施及び提案による業績拡大	現場	低燃費・低騒音重機優先使用 工事の環境提案実施(件数)	
6 伐採廃棄物(木くず)等のリサイクルの促進	現場	剪定くず等をチップ化し再利用(マルチング等)を行う	
		チップ化した剪定くずは、家畜堆肥と混合し土壌改良 剤や肥料として再利用を行う	
7 地域の環境保全活動の積極的実施	全社	所属団体、公共機関等のボランティア要請に積極的に参加する。	
8 課題とチャンスからの計画	全社	人材の確保、業務改革効率化、地域連携、防災協定、工事協力会社の 拡充と連携強化,インターシップ受け入れ、業界の協会等の加入による 情報入手	

6. 実施体制



役割分担表

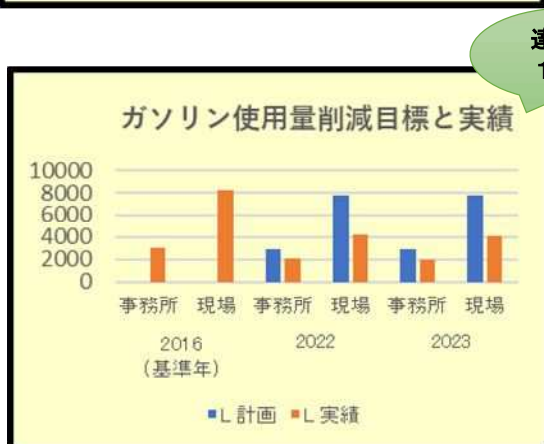
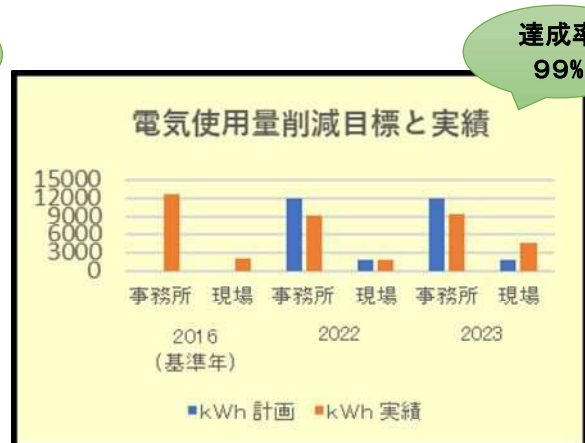
所 属	役割・責任・権限
代表者	・ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・ 環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・ 環境経営管理責任者、EA21事務局員を任命する ・ 環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・ EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる。 ・ 毎年、環境経営経営目標、環境経営経営活動計画を作成する。 ・ 3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営経営活動計画の実施状況を確認・評価する。 ・ 上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	・ 3か月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営活動計画の実施状況を審議する。
EA21事務局	・ 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・ 環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動計画を部門全員に周知する ・ 環境経営目標達成のため、責任を持って自部門の環境経営活動を推進する ・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・ 自部門に関連する法規制等を順守する ・ 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・ 自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加する

7. 環境経営目標と環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標と環境経営計画

(1) 環境経営目標と環境経営計画の実績(活動期間:2023年6月～2024年5月)

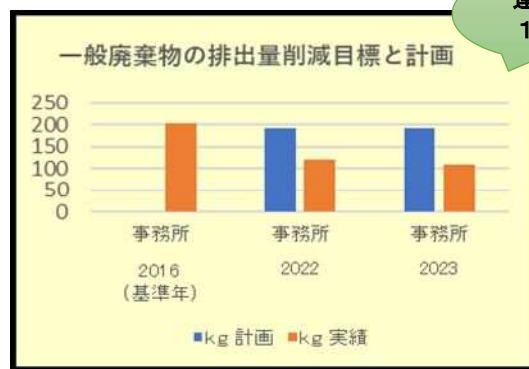
項目			年間目標	年間実績	目標達成	
CO ₂ 総排出量		kg-CO ₂	46994	39145	120%	○
①電気使用量削減	事務所	kWh	11944	9409	127%	○
	現場	kWh	1848	4529	41%	×
	合計	kWh	13792	13938	99%	△
③ガソリン使用量削減	事務所	L	2919	1937	151%	○
	現場	L	7764	4068	191%	○
	合計	L	10683	6005	178%	○
③軽油使用量削減	事務所	L	-	0	-	-
	現場	L	6565	7322	90%	△
	合計	L	6565	7322	90%	△

※○:目標達成率100%以上 △:目標達成90%以上 ×:目標達成率90%未満



項目			年間目標	年間実績	目標達成	
水使用量削減	事務所	m³	118	91.5	129%	○
	現場	m³	－	0	－	－
	合計	m³	118	91.5	129%	○
一般廃棄物排出量の削減		kg	192	実績110kg 剪定枝は数値目標・実績に入れない。	160%	○
産業廃棄物排出量削減 及びリサイクル率向上		再資源 化率	90%	98% (排出量:200.t)	○	
化学物質適正管理		－	適正管理	適正に管理 出来ている	○	
伐採廃棄物(木くず)等のリサイク ルの促進(手入れ等の維持管理で発生した 木くずの量で一般廃棄物量)		－	リサイクル量把握	リサイクル量把握 (リサイクル量:457050kg)	○	
環境配慮工事の実施及び提案に よる業績拡大		－	低燃費・低騒音重 機優先使用	優先使用	○	
		件/年	工事の環境提案 実施	4	○	
			3			
地域貢献活動		件数	積極的参加 2件/年	積極的に参加を 行った 3件/年	○	
人材確保のための取組			安全管理等の研修、講習 会参加受講を行う、イン ターシップ受け入れ等	・インターシップの受入 ・農薬指導士講習参加	○	

※○:目標達成率100%以上 △:目標達成90%以上 ×:目標達成率90%未満



電気

…現場事務所が通年設置していたこともあり現場での使用量が増加し目標達成できなかった。

ガソリン/軽油

…工事の工種や天候等で充電式タイプを使用できないこともあるが、ガソリンについては、目標達成できたが軽油については目標達成できなかった。エコドライブや工具の充電式タイプとエンジンタイプの併用を行い削減に努める。

水

…節水に努め使用量の削減できている。

廃棄物

…一般廃棄物のコピー用紙や封筒など再利用できるモノは再利用を行っている。産業廃棄物の排出量は工事により数量が異なるが、処分数量の把握を継続して行う。

伐採廃棄物(木くず)…剪定くずのチップ化を行っている。また、剪定くずのチップに有機質肥料を混合し、樹木の肥料や土壌改良として使用を行っている。

1. 二酸化炭素排出量の削減

基準年度より5.2%削減(中期目標2023年度目標)

活動項目		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
①電気使用量の削減	照明が不要な時は消灯を行う	○	○	○	○	現場の電気使用量は 現場事務所設置期間 が通年あったため目 標達成できなかった が、概ね目標達成で きた。 軽油については、昨 年よりも削減はでき ていた。	各項目について継続 して実施する。充電 式工具とエンジン式 工具の併用を行い削 減に努める。
	パソコンやOA機器は省エネ設定を行う	○	○	○	○		
	節電タップコンセントを使用し 不必要な時はスイッチを切る	○	○	○	○		
	空調の設定温度を決める(夏26度、冬20度)	○	○	○	○		
	照明器具、空調機の定期清掃	○	○	○	○		
②ガソリン使用量の削減	アイドリングストップ	○	○	○	○		
	急発進・急加速・急減速の禁止	○	○	○	○		
	不要な荷物は積まない	○	○	○	○		
	空気圧の適正確認チェック (1ヶ月1回)	○	○	○	○		
③軽油使用量の削減	アイドリングストップ	○	○	○	○		
	急発進・急加速・急減速の禁止	○	○	○	○		
	不要な荷物は積まない	○	○	○	○		
	空気圧の適正確認チェック (1ヶ月1回)	○	○	○	○		
	定期点検の実施	○	○	○	○		

2. 廃棄物排出量の削減とリサイクルの促進

基準年度より5.2%削減(中期目標2023年度目標)

活動項目		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
①一般廃棄物排出量の把握と削減	分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○	再利用等を行い実施 できている。	コピー用紙や封筒な ど再利用を引き続き 行う。 産業廃棄物のマニ フェスト管理の徹底 と分別を確実に 行う。
	コピー用紙裏紙の利用	○	○	○	○		
	ミスプリント防止	○	○	○	○		
②産業廃棄物排出量の把握と削減	廃棄物排出量を把握し、マニフェスト伝票の発行管理や契約書の整備等を行う	○	○	○	○		
③産業廃棄物のリサイクル率の向上	分別によるリサイクルの推進	○	○	○	○		
	転用可能な資材の活用	○	○	○	○		

3. 水使用の削減

基準年度より5.2%削減(中期目標2023年度目標)

活動項目		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
水使用量の削減	節水ラベルの貼付	○	○	○	○	節水に努め目標は達成できた。	雨水の利用等行い節水を心がけ削減に努める。
	屋外のホースに自動的に止まるストッパーをつける	○	○	○	○		
	圃場で使用する水は、容器等を設置し雨水を利用する	○	○	○	○		
	植栽工事における灌水に用いる水は、近くの農業用水路からくみ取り使用する(使用許可済)	-	-	-	-		

※実施状況 ○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった -:該当無

4.化学物質の適正管理

活動項目		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
化学物質の 適正管理	SDSにより管理する	○	○	○	○	適正に管理できている。	継続して管理に努める。

5.環境配慮工事の実施及び提案による業績拡大

		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
環境配慮工 事の実施及 び提案による 業績拡大	低燃費・低騒音重機優先使用	○	○	○	○	出来る限り低燃費・ 低騒音重機を優先し て使用した。	今後とも、環境に配 慮した施工の実施を 確実にを行う。
	工事の環境提案実施(件数)	○	○	○	○		

6.伐採廃棄物(木くず)等のリサイクルの促進

活動項目		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
伐採廃棄物 (木くず)等の リサイクルの 促進	剪定くず等をチップ化し再利用 (マルチング等)を行う	○	○	○	○	剪定クズのチップ化 を実施して再利用を 行っている。	今後とも積極的に取 り組む。また、作業現 場にてチップ化して 敷き込みを行う。
	チップ化した剪定くずは、家畜 堆肥と混合し土壌改良剤や肥 料として再利用を行う	○	○	○	○		

7.地域の環境保全活動の積極的実施

活動項目		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
地域の環境 保全活動の 積極的実施	所属団体、公共機関等のボラ ンティア要請に積極的に参加 する	○	○	○	○	積極的に参加した。	所属団体・公共機関・ 地域のまちづくり協 議会にも参加協力す る。

8.課題とチャンスからの計画

活動項目		実施状況				年間評価	次年度の取組計画
		1/4期	2/4期	3/4期	4/4期		
人材確保の ための取りく み	人材の確保・働き方改革 受 注拡大施策協会等の加入によ る情報入手、地域連携、防災 協定、工事協力会社の拡充と 連携強化	○	○	○	○	建設業協会・造園業 協会等による情報を 入手している。	弊社社長が協会の支 部長をしているので 業界の指導的立場で あり、尚一層地域や 県・業界の連携強化 に取り組む。

※実施状況 ○:実施できた △:十分とは言えなかった ×:不十分であった -:該当無

8. 環境関連法規などの厳守状況の確認並びに違反、訴訟の有無

当社の事業活動に適用される環境関連法規等は次のとおりです。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェストの交付・回収・保管の適正処理
建設リサイクル法	一定規模以上は建築4品目の分別解体と再資源化
建設業法	建設業許可
オフロード法	特定特殊自動車の使用の制限
騒音規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守
振動規制法	特定建設作業の届出 建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の引渡義務
フロン排出抑制法	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化
河川法	河川区域内において施工する場合の許可
水質汚濁防止法	排水基準の厳守
浄化槽法	浄化槽の管理 保守点検・法定点検の実施
農薬取締法	使用の規制の厳守
毒物及び劇物取締法	取り扱いの厳守

令和6年6月に上記の環境関連法規等の遵守状況を確認・評価した結果、違反はありませんでした。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの指示結果

取り組み、目標の達成状況、計画状況の確認を行いました。

その結果、全体的に目標の達成達成ができてはいたが、現場の電気使用量の目標達成は出来なかった。現場工事期間や天候の問題等色々な原因並びに条件が考えられるが、電気の削減を心がけ継続して取り組みます。

環境経営方針、環境経営目標・環境経営計画については、小さな事の積み重ねを大切にし、社員全員がその意識をもって取り組むようにしていきたいと思います。環境経営方針、環境経営目標及び環境経営計画、実施体制等については見直しはなく継続する事を指示しました。

また、弊社の仕事でもある「緑にかかわる」という立場から、社会への責務と貢献を常に意識し業務にあたるよう指導していきたいと思います。

